

## 2021年度 東海発電所防災訓練における課題対応等について

### 1. はじめに

2022年3月4日（第一部）及び3月28日（第二部）に実施した東海発電所防災訓練においては、全体的な事故収束対応、情報共有について、概ね問題なく対応できたと評価しているが、3月4日の通報連絡訓練における通報文に誤記等が発生した場合の対応に一部不備が生じた。

このため、問題点を洗い出し、根本原因分析を実施し、改善事項について以下のとおり考察した。

### 2. 課題対応

#### (1) 事象の概要（添付資料－1参照）

2022年3月4日に実施した東海発電所防災訓練（第一部）において通報文「警戒事態該当事象連絡（第1報）の誤記（記載漏れ）」及び「第25条報告（第6報）の誤送信（添付漏れ）」において、訂正報としての通報番号を新たに採番すべきところ通報番号を変更せず、既通報番号でFAX送信した。  
なお、その他の通報文の記載事項や通報連絡の対応等は、適正に実施していることを確認した。

#### (2) 課題の抽出

##### ①問題点

訓練参加要員の反省事項から抽出した問題点については以下の通りである。

- a. 通報文作成者は、通報文「警戒事態該当事象連絡（第1報）」のFAX送信において、排気筒放射線モニタの状態「変化なし」についての記載（囲み線）が無かったため、囲み線を追記して速やかに再送信したが、訂正報として新たに採番（第1報→第2報）しなかった。
- b. 通報文確認者は、「25条報告（第6報）」のFAX送信において、添付（2枚目）を送信しなかったことに気づき、既送付の通報文に「再送」と追記し速やかに再送信したが、訂正報として新たに採番（第6報→第7報）しなかった。

##### ②課題

#### 通報文に誤記等が発生した場合の対応

#### (3) 主要原因（添付資料－2参照）

原因分析を実施した結果、以下である。

（問題点 a. の主要原因）

- ①：訂正報として新たに採番するのを失念した。
- ②：時間的な余裕がなかった。

（問題点 b. の主要原因）

- ①：通報文の記載内容に変更（修正）がなかったため、訂正報として認識がなかった。
- ②：FAX未送信時の対応（再送）方法について、手順がなかった。

#### (4) 改善策

(問題点 a. の改善策)

要素訓練として通報連絡訓練を発電所情報班内で実施し、通報文の重要性・迅速な対応・正確な通報文の作成を意識付けできるよう、繰り返し教育訓練を実施する。また、訓練で使用する評価チェックシートには、訂正報の対応項目を追加し評価することにより、対応手順の習熟及び定着化を図る。

(問題点 b. の改善策)

訂正内容（誤記修正、追記、EAL訂正、FAX一部未送信時の再送等）に応じた手順や記載例を整備し、要員への教育、要素訓練による習熟及び定着化を図る。

#### (5) 東海発電所防災訓練（第二部）

2022年3月28日に実施した東海発電所防災訓練（第二部）においては、通報文の重要性・迅速な対応・正確な通報文の作成を意識付けするよう教育訓練を事前に実施し、本訓練での訂正報の発出がなかった。今後は、上記（4）の改善策を継続して実施し、要素訓練にて習熟及び定着化を図る。

### 3. 更なる改善事項

今回の訓練で抽出された更なる改善事項としては以下の通りである。

番号	事業所	更なる改善策	対応期間
1	発電所	本部席に発話ルールを掲示し、周知徹底に努めているが、更なる改善として、発話ルールの実施状況について、繰り返し訓練で確認（評価チェックシート）し、定着化を目指す。	短期
2	発電所/ 本店	発電所本部及びERC対応班は、EAL等の重要情報をタイムリーかつ情報共有ツールを活用した説明ができたが、更なる改善として、東海発電所のEALフローや東海発電所構内図（拡大図）を共有資料に追加する。	短期
3	本店	リエゾンは、本店本部ルール集に従い対応できたが、一部情報提供が遅れた場面があった。更なる改善として、インカムを配備し、リエゾン間の連携の強化を図る。	短期

以上

当社知的財産のためマスキング実施

## 事象の概要 (2)警戒事態該当事象連絡(第1報)

当社知的財産のためマスキング実施

## 事象の概要 (2)警戒事態該当事象連絡(第1報)

当社知的財産のためマスキング実施

## 事象の概要 (3)第25条報告(第6報)

当社知的財産のためマスキング実施

## 事象の概要 (3)第25条報告(第6報)

当社知的財産のためマスキング実施

通報（F A X）文に誤記等が発生した場合の対応が適切に実施できなかった事案に対する原因分析

当社知的財産のためマスキング実施